

くすのき



～ 新たな取組が始まっています ～

新年度がスタートしたと思ったら、もう2か月が終わろうとしています。4月はたくさんの書類の提出、授業参観や家庭訪問にご協力くださり、ありがとうございました。コロナウイルス感染症対策が緩和されたことにより、今週末の運動会も昨年度からの変更点がいくつかあります。弁当なしの午前中開催、入れ替え制は昨年同様ですが、三部から二部、観覧の人数制限なしといった点です。今後、前年度とは違った形で行う学校行事になることと思いますが、保護者の皆様のご理解、ご協力を何卒よろしくお願い致します。

さて、今回は、「学校運営協議会（CS）」「通級指導教室」「氷丘小学校区安全安心協議会」の取組についてご紹介したいと思います。

～ 春テーマ『生命尊重』のポスター ～

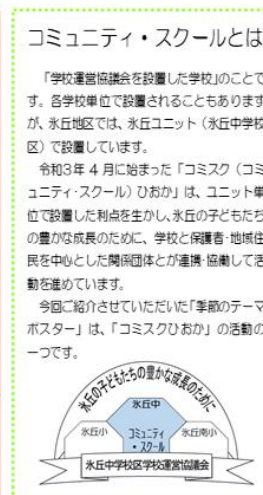
学校運営協議会の取組のひとつであるポスター制作も2年目です。昨年度、氷丘小学校が作成したポスターのテーマは『感謝』でした、その後、『思いやり・親切』『自律心』『あいさつ』をテーマにしたポスターが制作され、氷丘地区各校、地域に掲示されてきました。

今回のテーマは『生命尊重』です。サブテーマには「命はたったひとつ、すべての命を大切に」が挙げられています。このテーマは、そのような氷丘の子どもたちになってほしいという地域の方々の想いがあります。6年生にこのポスターのイラストを緊急募集したところ、多数の力作が集まり、選ぶのに悩んだほどです。うれしい悩みです。そうして完成したポスターをご紹介します。

このポスターは、今年度も氷丘小学校だけでなく、氷丘南小学校、氷丘中学校、氷丘幼稚園、氷丘南幼稚園、氷丘公民館、地域に配られ、各所に掲示される予定です。

氷丘の子どもたちの豊かな成長のために ～学校園・家庭・地域とともに～

「コミュニティ・スクールひおか」の取組として、氷丘中、氷丘小、氷丘南小が作成したポスターです。学校運営協議会でのアンケート結果をもとに「氷丘中学校区の子どもたちに身に付けさせたい品格」を季節ごとのテーマとしています。



【なのはな教室（通級指導教室）について】

氷丘小学校では昨年度に、なのはな教室（通級指導教室）が開室しました。この教室に通う子どもは、ほとんどの授業は通常のクラスで学習を受けながら、一部、個別の指導を受けて学習や生活上の課題の改善を図るために通います。

通級指導教室は、これまでに加古川市内の一部の小中学校で開設されており、本校の子どもたちは他校に通っていました。今回、本校に通級指導教室が開室されたことにより、より手厚い個別支援ができるようになっていきます。教室の利用にあたっては、学校での教育相談や加古川市教育委員会への申請を経て審査を行うなど、手続きが必要となります。詳しくは、学級担任、通級担当（原 恵理）までお問い合わせください。

※様々な原因によって本来の力を出し切れていなかったり、不安を抱えたりしながら学校生活を送っている子どもがいます。「通級指導教室」は、このような子どもたちが自分らしく、本来持っている力を輝かせながら、生き生きとした学校生活が送れるように支援することを目的としています。

※「通級による指導」とは、各教科の学習は通常の学級で行いつつ、必要な時間だけを通級指導教室に通って指導を受けることをいいます。通級指導教室では、週1～3時間程度で、個々に応じた指導を行います。

【氷丘小学校区

安全安心協議会について】

見出しの会は、平成23年に、「氷丘小学校の児童の健全育成、登下校時の安全確保を図ること」を目的として設立されました。学期に1回程度、各町内会長・自治会長、PTAから会長・地区役員・保体委員長、見守り隊、民生児童委員等の皆様にお集まりいただき、氷丘の子どもたちの現状と安全対策について協議を行っています。

また、昨年度には、この協議会から派生して「避難所運営委員会」が組織されました。そこでは大規模災害時に学校が避難所となった場合を想定した研修、訓練等を行っています。

子どもたちの安全安心のために、保護者の皆様はもちろん、各方面からのあたたかい見守りとご支援を頂いております。今後とも氷丘っ子的のためによりしくお願いします。

